

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	音楽業界研究4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	尾崎久美子	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的					
楽曲理解力(歌詞、メロディー、リズム、サウンド等)を高め、コーラス(background Vocal)の技術とそのアレンジについて学ぶ。メロディーとコードとのかかわりをしっかり理解する。ハーモニーの作り方を学び、感じ取る。					
到達目標					
仕事として、仮歌やコーラスアレンジ等の依頼にも対応できるスキルを習得することを目標とする。自身でコーラスパートのラインを考え、音が積めるようになる。またオブリガードも自身で歌詞を考え、付けていけるようになる。					
教育方法等					
授業概要	様々な楽曲を課題として取り上げ、メインボーカルとコーラスの関係性や、アレンジの中でのコーラスの位置関係、ハーモニーつけ方や裏メロのあり方を含めたアレンジ方法、コーラスをするときの表現方法等で研究していく。				
注意点	1.ひとつの課題曲を2週続けて理解または仕上げを目指すことが多い。 2.発表会を予定していないので、授業内で学生同士がアイデアや実演を評価し合う必要がある。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	洋楽へのハモ付	やや複雑なコーラスアレンジを聴き取り、実践できるようにする			
2回	既存洋楽曲のアナライズ	既存曲をアナライズして、コード、メロと関わり合いが深いことを理解する			
3回	ハーモニーの位置	ハーモニーの位置、メロディーとの関係について理解させる			
4回	サビへのハモ付	既存洋楽曲のサビにハモを付ける(3声)			
5回	オブリガードについて	オブリガードとは、その役割など理解する			
6回	オブリガードのつけ方	既存洋楽曲を使用して、実際にオブリガードを作詞し、入れてみる			
7回	男女別での実践	男性曲に叙せコーラス、女性曲に男性コーラスを考えて入れる			
8回	ウーアーの理解	ウーアーとは何か、その役割を理解する			
9回	ウーアーの積み方	再度コードトーン、ストリングスの積み方など復習しつつ、考察する			
10回	ウーアーを入れる	声の使い方のレクチャーをはじめ、実際に既存曲に入れてみる			
11回	ストリングスラインとの関係	音の積み方が同じであることを理解する			
12回	コーラス付	自分でハモを考えて、自由に全編にに入れてみる			
13回	裏メロについて	ハーモニー以外の裏メロと主メロとの関係について研究する			
14回	発表会に向けて	発表会に向けてのブラッシュアップを行う			
15回	発表会	既存曲、オリジナル問わず、自由にハモを付けて発表する			